

新型コロナウイルスの第3波に備え 今、栄養経営士として何ができるか

現在、新型コロナウイルス感染症の流行は第2波のゆるやかな下り坂にありますが、冬に向けて第3波の到来が予測されており、インフルエンザの流行と合わせ、十分な対策と準備が必要になります。そのために今、栄養経営士は何をすべきか。関西支部の前島美千枝支部長と、関西支部で活躍中の栄養経営士の皆様からメッセージをいただきました。

このコロナ禍を契機として業務を見直し 新たなチャレンジにつなげよう



日本栄養経営実践協会関西支部支部長
医療法人嘉健会思温病院
管理栄養士
前島美千枝

新型コロナウイルスは、皆さまの職場でも大きな影響を及ぼしていると思います。私が勤務する病院でもコロナの前と後では仕事内容がガラッと変わるほどの影響がありました。

一番は、やはり外来患者さんが激減したということですね。栄養指導件数の減少は収入減に直結しますので、そこをどうするのが大きな課題となりました。コスト削減はもちろんですが、栄養部門としての収入を上げるためにどうするかを考え、

入院患者の絶食率を下げるアプローチに力を入れています。今年から新しいドクターが入られたこともあり、嚥下機能をきちんと測るための検査を増やし、看護部門と協力しながら進めています。絶食率が下がれば薬が減量でき、グローバルコスト削減にもつながるのですね、栄養部門としても大切な取り組みだと思っています。

「コロナだから仕方ない」と言っているのは何もできません。改めて業務を見直してみること、収入を増やす方法も見つかるはずですね。そこに目をつけられるかどうか、栄養経営士にとって重要になってくるのではないのでしょうか。今回のコロナ禍は、業務を見直し、原点

に返るための重要な契機になると思います。災害時の対応マニュアルの改訂などももちろんですが、衛生管理ひとつとっても、この作業は何のためのものなのかをきちんと考え、なぜこの帳票が必要なのかという意味を理解して業務を行うことで、仕事の精度が上がりますし、ムダもなくなります。ムダを省いたことで余裕が生まれ、新たなチャレンジをはじめられる可能性もありますので、まさに栄養経営士の活躍が期待されるところです。

また、コロナ禍ではプラスになったこともあり、外食がでなくなりました。外食がでなくなると、生活をするようになってきます。バランスのよい食生活になれば、免疫力の向上にもつながりますし、そういった

部分を管理栄養士としてきちんと評価して患者さんにフィードバックすることが大切です。このコロナ禍をチャンスにできる、管理栄養士としての腕の見せ所だと思って、がんばっていただきたいと思っています。

第3波に備え、 今からできる限りの準備を！



社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会
中津特別養護老人ホーム喜久寿苑
阿部 茉莉さん

第1波時は疑似症患者の下膳を担当職員が怖がったため、不要と知りながら、残食をフロア廃棄にし、塩素系漂白剤で消毒後に通常洗浄しました。外部の医師がフロアに行けなくなり、大阪市に相談のうえ、経口維持加算の算定方法を変更、職員間や対外の会議・連絡では電話やメールでのやりとりが増え、誰にでもわかる文書の作成が課題となるなど、想定外の問題が多く発生しました。

感染拡大が落ち着いている今、第3波に向けた準備をしています。感染や濃厚接触があると職員は最長で1カ月出勤停止なので「自分が感染したら仕事をどう分担してもらうか」を設定しました。とくに加算関係は止められません。一人職種なのですべて分担先は他職種ですが、快く引き受けていただけ、日々のコミュニケーションの大切さを実感しました。次は、厨房職員が出勤停止になったときの備えについて検討・準備しています。

今後はますます、経営を踏まえた上で、病気の災害も予想外な状況にどう柔軟に対応できるかが大事になると思います。栄養経営士の皆様と共に、自分もがんばっていきたいです。

隙間時間に自分を磨いて ピンチをチャンスに！



社会福祉法人大阪晩明館大阪晩明病院
臨床栄養科
笠舞 和宏さん

感染予防のために十分な手洗いの実施や個人用防御具の取り扱いなど、栄養経営士の皆さんもこのコロナ禍でいつも以上に気をつかい、さまざまな苦勞をされていると思います。私は外出の自粛や、感染予防のため業務制限等もあり普段より多少時間ができたため、この時間を活用するため、苦手な部分の再履修をしようと心掛けました。しかし、院内勉強会も中止、対面の院外勉強会も少なくなっているのが現状です。

その一方で、Web等で参加できる、オンラインの学会・勉強会が多くなりました。これまでは移動の時間やお金がかかるため、参加する学会を絞る必要がありましたが、オンラインなら全国どこでも参加は可能で、普段の学会では聞けない裏会場のセッションも見られるなど、今だからこそメリットも存在しています。

自分の隙間時間に勉強でき、資格の取得や継続のための単位の取得も取りやすく自分磨きのチャンスととらえることもできるはずです。コロナ禍というピンチをチャンスと捉えてがんばりましょう！

どんな状況下でも できることをやってみよう！



あずま栄養士事務所
東 泰子さん

栄養事務所を開設したばかりで、顧客確保をどうすればいいか？に悩んでいます。当初は近所の介護施設や地域包括センターにあいさつ回りをする予定でしたが、それができず、出鼻をくじかれ「コロナが落ち着いた状態って、どんな状態？」という感じで、今も動き方が見えていません。それでも、準備できるものは進めようと思い、今はオンラインに着手しました。

もともとオンラインに将来性を感じていたので「そのうちやろう」と思っていたところ、コロナ対策として兵庫県から設備費用の補助金が出るという情報を得て、準備をはじめました。Webカメラでは定点からの撮影となり、調理など動きを伴う撮影には向かないため、操作がしやすいビデオカメラをWebカメラに転用しています。

皆さん、日々の対応、お疲れさまです。コロナ禍に少し慣れてきた気がする……とは言え、今までとは違う状況で大変だと思います。しかし、どんな状況下でも人には栄養が必要なんです。だから私たち、栄養経営士は対象者に合わせた栄養バランスの情報を発信していきましょう。

株式会社ヘルシーネットワーク

認定栄養ケア・ステーションの活動は
企業の枠を超えた栄養の拠点づくり

病院・福祉施設で利用されている食品を、食事療法を行う在宅の利用者へ届ける通信販売事業を行う株式会社ヘルシーネットワーク(東京都日野市)では、認定栄養ケア・ステーション「ヘルシーネットワークつながる」の活動を行っています。地域密着型の栄養ケア提供の拠点としての活動に加え、南多摩地域栄養士協議会の事務局としても活動を行っている同ステーション。なぜ栄養ケア・ステーションを始めたのか、そして現在どのような活動をされているのかについて、同ステーションの中村玉絵さんと知久直美さんにお話を伺いました。

電話相談からのスタートで
ニーズに応じて活動を拡大

日本栄養士会による「栄養ケア・ステーション」(以下、「栄養CS」)認定制度は2018年からスタートしていますが、ヘルシーネットワーク(以下、当社)では17年10月より、東京都限定で「お食事ホットラインつながる」という電話相談のサービスをはじめていました。これは当社をご利用いただいているお客様向けの相談窓口という位置付けのものでしたが、翌18年4月からは対象を広げて全国からの相談を受け付けることになりました。

この電話相談は病院や施設での経験がある2名の管理栄養士で対応していましたが、現場との接点を持つため

にも地域に出る環境をつくりたいという思いを持っていました。また、当社の商品の利用者ではない方からも「相談に乗ってほしい」という声をいただいていたので、そうしたニーズにどう応えていくかという課題もありました。栄養CSの認定を受けることによって活動の幅を広げられるのではないかと、認定制度のスタートと同時に申請いたしました。現在は管理栄養士4名と栄養士1名の5名体制で運営しています。

認定された当初は何をすればいいのかわからず、まずは栄養士はどんなことができるのかを知っていただくために、地域の行政の方

やケアマネ協議会、住宅支援事業所等への訪問をはじめました。そのうちにヘルパーの研修会での講師を依頼されたり、市が行う市民向け講座やイベントでの栄養相談ブースを担当させていただいたり、徐々に活動の場が広がっていききました。

ニーズが少しずつ見えてきたなかで、まずは栄養CSの大きな柱として日野市の「食事の見守りお届けサービス」をスタートしました。市内限定にはなるのですが、管理栄養士が直接ご自宅にお持ちして、使い方の説明や食べ切れているかどうかのヒヤリングなどを



日野市の人生100年時代のライフイノベーション事業として食事の提供と栄養講話を実施。体操教室の前後でみんなでお食事

セットで行うサービスです。このサービスを始めるに「商品はいらないけど栄養士さんには来て欲しい」という依頼が来るようになり、そこにも対応するための「お食事のコーディネートサービス」も始めました。自費の栄養サポートになりませんが、自宅に栄養士に来てもらってサポートを受けたい、という方へのサービスになっています。

またそこから派生して、日野市と多摩市を中心としたエリアで栄養支援型配食サービスを行っています。お弁当のお届けに加えて栄養士のサポートが入るというサービスです。さらに今年の4月からは日野市の母子栄養事業の業務受託をさせていただいています。新型コロナウイルス感染症の影響でなかなかスタートできなかったのですが、7月からはオンラインで離乳教室やママパックスの栄養相談などを行っています。

栄養士としての連携強化に向け
地域の栄養士協議会の事務局を担う

当栄養CSでは、南多摩地域栄養士協議会の事務局も担当しています。栄養CSとなったことで、これまで企業としてはなかなか接点を持てなかった行政とも話ができるようになったのですが、そのときに組織として動いてほしいという要望をいただいたことがきっかけでした。

同時に、病院・施設の管理栄養士の方々からは「自分たちの活動を地域の栄養士にも知ってもらいたい」「1

人職場なので他施設の

栄養士に相談したい」などの意見をいただくことがありました。さらに「他の地域の栄養士がつながる場がほしい」といった声もいただいていたこともあり、所属や職域にこだわらず集まれる場として地域の栄養士・管理栄養士と協働して南多摩地域栄養士協議会を設立、事務局を担うことになりました。

20年8月現在、協議会には近隣5市の栄養士・管理栄養士65名が

病院で使われている医療・介護用食品を、ご家庭にお届けしています。

HEALTHCARE FOOD
在宅 通信販売

Healthy Network

- ☑ 噛むこと、飲み込むことが苦手な方に
☑ 飲食時によくむせる方 ☑ 食の細い方に

はつらつ食品カタログには、やわらかさの程度や形態別に分類されたおかずやデザート、とろみ調整食品や濃厚流動食品が掲載されています。また、栄養指導で役立つコラムも多数ご紹介しています！

病態別に「たんぱく質調整用」「カロリー調整用」もご用意しております



カタログのご請求・お問い合わせ



株式会社ヘルシーネットワーク

受付時間 9:00 ~ 17:00 ※日・祝除く

〒191-0024 東京都日野市万願寺 1-34-3

TEL 042-581-1192 FAX 042-514-8521

スマホでのアクセスはこちら▶

ヘルシーネットワーク 検索

https://www.healthynetwork.co.jp



配食だけにとどまらない 地域の方の健康サポートを

集まっています。協議会ができたことで、行政からも「地域のなかで栄養士がどこにいるのかが見えるようになった」と評価いただいています。また協議会ができたことで、これまで参加できなかった地域の方が集まっています。

現在行っている栄養

支援型配食に加えて、地域の方が集まる場にお弁当を届け、健康状態をチェックするなど健康サポートを行う「健康支援型配食サービス」の取り組みもはじめています。

昨年は体操教室を市内で行っている団体と連携をして、教室に参加されている方に栄養の話をしたり、お弁当を持って行ったりという活動をさせていただきました。現在はコロナもあって体操教室自体がお休みになってしまっているのですが、地域の方の健康づくりの場に向いて、情報やお弁当を提供する活動は今後も続けていくつもりです。

市主催の「医療と介護の連携推進勉強会」にも参加できるようにになりました。他職種と一緒に関わりながら、地域連携について話せる場を持てるようになったということも非常に大きかったと思っています。

ばなと考えています。

もともと当社では週1回、冷凍のお弁当を届けていますので、自分で温められる方に利用いただいています。自立はされているけれども食事の管理や調理まではできないという利用者の方が多いので、「外に出ましよう」という提案はしやすい状況にあります。もちろん「外には出たくない」という方もいらっしゃると思いますので、そこは利用者の方の気持ちや尊重しながら、健康支援につなげていければと思っています。

こんにちは！ 南多摩地域栄養士協議会です

南多摩地域栄養士協議会は、日野市・多摩市・稲城市・町田市・八王子市の「栄養士・管理栄養士の顔の見える連携づくり」を目指し発足いたしました。所属施設（勤務先）や経験年数に関わらず、栄養士同士の情報交換の場や同職種連携の場として、当協議会をぜひご活用ください。

上記の5市で活動されている栄養士・管理栄養士の皆さまで、活動に関心のある方、一緒に活動したいという方いらっしゃいましたらぜひお問い合わせください。皆さまのご参加をお待ちしています！

<https://www.healthynetwork.co.jp/tsunagaru>



医療と介護の連携推進勉強会（日野市）に講師として参加



お弁当を食べながらの栄養講話の様子

が、栄養CSの活動を通してこれまで当社の商品を使っていなかった層にも認知度を高めたことが一番大きかったと思います。当社の栄養CSには栄養士がいて、困ったときに

相談できる場所だと認識してもらうことで、家族や自分が病気になったときに、親しみをもち出してもらうようになっています。

患者の体内で起こっていることを知り、チーム医療で貢献できる管理栄養士になる！

栄養経営特別セミナー 症例検討 【公開講座】WEBセミナー 「チーム医療に参画する為に知っておきたい知識」



【公開講座】WEBセミナー



【公開講座】WEBセミナー

講義内容

- 1) Evidenceで見る(診る)栄養サポートの重要性
栄養介入に関する海外の報告例／DRM (Disease Related Malnutrition: 疾患関連栄養不良)／入院患者の低栄養頻度／体格の変化／心不全患者の追跡調査の報告例／外科手術による免疫栄養の有用性 ほか
- 2) 症例1
78歳女性の場合／入院時所見／Refeeding 症候群／低リン血症の臨床症状／血清リン濃度の低下とヘモグロビンの酸素親和度の上昇 ほか
- 3) 症例2
81歳女性の場合／入院時所見／栄養アセスメント／入院時生化学検査／特定集中治療室での栄養管理の評価／留意事項／第2病日／生命維持デバイス ほか

宮澤 靖

日本栄養経営実践協会
代表理事



栄養経営士には「経営」と「臨床」の大きな二本の柱があります。今まで協会ではマネジメントに軸足を置いた活動が多かったのですが、これからは臨床にも力を入れていきたいと考えております。この動画内では2つの症例を紹介していますが、私が話していることだけが答えではありません。「答えはベッドサイドにある」ということを忘れずに、参考例として活用してください。この動画を会員の皆様に広くご覧いただき、臨床能力を高めるお手伝いができればと思っています。そして、栄養経営士として「経営」と「臨床」の両軸に足を置き、アクティブに施設内で活躍されることを期待しています。

講師 宮澤 靖（一般社団法人日本栄養経営実践協会
代表理事、東京医科大学病院 栄養管理科 科長）

講義時間 約100分（全3動画）

受講料 4,400円（税込）

視聴方法 パソコン、タブレット、スマートフォン
※OSとブラウザのバージョンは紹介ページでご確認ください

視聴期間 14日間

申込および詳細 <http://hcmi-s.net/weblesson-hcm/e01/>

※お申し込み時のお支払いにはPaypalへの登録が必要になります。お振込みをご希望の場合には事務局までお問い合わせください

※お申し込み・お支払いが確認できましたら、視聴サイトのURLとログイン用のID・パスワードをメールでお知らせいたします

※セミナー・講座動画は申込者ご本人のみ視聴可能です

※リアルタイムのセミナーではありません

申込・お問い合わせ先

日本ヘルスケア
経営学院事務局
（株式会社日本医療企画内）

TEL:03-3553-2862
E-mail: jjissenkenkyu@jmp.co.jp



栄養経営士が知っておきたい!

イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

東海支部

患者さん・他職種の心を「グッと！」 つかむ栄養指導法 管理栄養士スキルアップセミナー

「患者さんにどう伝えたらいいかわからない」など栄養指導の悩みを抱える管理栄養士に向けて、患者さんや医師・他職種に信頼される栄養指導法について講演。2020年度診療報酬改定により今年度から算定可能となった電話での栄養指導にも活かせるスキルが身につきます。

○日 程：2020年10月24日(土) 14:00～15:15(13:45 受付)

○講 演：森茂雄氏(JA愛知厚生連豊田厚生病院栄養科栄養管理課 課長／栄養経営士)

○参加費(税込)：【会員】3,500円【一般】4,500円 ※参加特典つき

○会 場：株式会社日本医療企画 セミナールーム

(愛知県名古屋市中区栄2-12-12 アーク栄白川パークビル 3階)

○定 員：【会場】15名(先着順)【WEB】100名

○お問い合わせ：日本栄養経営実践協会 東海支部(担当:山田)

TEL:052-209-5451

3経営士合同研究会

『アフターコロナ・ウィズコロナ』時代に求められる ～『カイゼン』流の組織変革～

好評の「坪ゼミ」を11月から全3回で会場&リモートのハイブリッド形式で開催。アフターコロナ・ウィズコロナ時代に求められる、問題解決・課題達成のための科学的な思考や手法について、講義と演習で学びます。

○日 程：2020年11月22日(日)、12月20日(日)、1月30日(土)
14:00～17:00(受付13:30～)

○講 演：坪茂典氏(社会医療法人 愛仁会 本部統括部長)

○参加費(税込)：会員【全3回】7,500円【各回】3,000円

○会 場：本町第2ビル2階セミナールーム

(大阪府中央区本町2-2-5本町第2ビル2階)

○定 員：【会場】30名(先着順)※WEB受講あり

○お問い合わせ：株式会社日本医療企画 関西支社(担当:喜津木)

TEL:06-7660-1761

セミナー情報

「コロナ時代」の経口維持と栄養管理 『ヘルスケア・レストラン』特別WEBセミナー

コロナ禍の長期化により、病院や高齢者施設の栄養部門では栄養指導件数の減少や経口維持加算の算定困難といった状況に陥っています。こうした現状を打開するための新たな栄養管理のあり方について考えるセミナーです。

○日 程：第1弾 2020年10月17日(土) 10:00～11:00

第2弾 2020年11月29日(日) 10:00～12:00

○講 演：第1弾 中村育子氏(医療法人福寿会慈英会病院在宅栄養課 課長)

第2弾 中根綾子氏(東京医科歯科大学 助教・歯科医師)

大久保陽子氏(特別養護老人ホームマイライフ徳丸 主任管理栄養士／栄養経営士)

○参加費：無料

○定 員：500名

○お問い合わせ：株式会社日本医療企画 セミナー事務局(担当:金久保)

TEL:03-3553-2885

協会事務局より

2020年12月期限の会員の皆様へ 【年度会費納入および資格更新のご案内】

本年12月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内を郵送しております。ご確認および手続きのほど、よろしくお願い申し上げます。

○年度会費：有効期限が2019年12月20日～2020年12月19日の方

【個人正会員】10,000円

【栄養経営サポーター】8,000円

○資格更新：会員資格が2017年12月20日～2020年12月19日の方

【個人正会員】15,000円(年度会費込み)

※申請書類・課題をご提出ください。

【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)

○お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会

TEL:03-3553-2903

一般社団法人 日本栄養経営実践協会 主催

10年後も生き残れる管理栄養士を目指そう!

第11回
「栄養経営士」
資格認定試験

2020年 11月15日(日)

■受験料：8,500円(税込)

■試験会場(予定)：札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・福岡

■受験資格：管理栄養士(実務経験2年以上)かつ「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

「栄養経営士」資格認定基礎講習は
DVD視聴による受講も可能です!

3枚組・特典映像
「近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて」付き

くわしくは

🔍 栄養経営士

検索



一般社団法人 日本栄養経営実践協会
The Japan Association for Nutritional Management Practice

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-20-5 S-Gate八丁堀9F
TEL:03-3553-2903 FAX:03-3553-2904